

乳幼児健診における推奨問診項目の開発

研究協力者	松浦 賢長	（福岡県立大学看護学部）
研究協力者	樋口 善之	（福岡教育大学教育学部）
研究協力者	佐々木 溪円	（あいち小児保健医療総合センター）
研究協力者	新美 志帆	（あいち小児保健医療総合センター）
研究分担者	草野 恵美子	（大阪医科大学看護学部）
研究分担者	市川 香織	（文京学院大学保健医療学部）
研究分担者	佐藤 拓代	（大阪府立母子保健総合医療センター）
研究分担者	山縣 然太郎	（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
研究代表者	山崎 嘉久	（あいち小児保健医療総合センター）

乳幼児期の健康診査（以下、健診とする）における問診項目の標準化を目的として、まず3～4か月児健診における問診項目の標準化に取り組んだ。文献等に基づいたこれまでの問診項目の動向分析による結果と、平成24年度厚生労働科学研究「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」班（H24-次世代-指定-007（復興）研究代表者：呉繁夫）が収集した実際に市町村で用いられている問診項目を帰納的に分析した結果との比較から、その差異を導き出した。その上で、健康の社会的決定要因の考え方を取り入れながら、3～4か月児健診の問診項目標準化に向けた試作案20問を提示した（第1次検討プロセス）。

第2次検討プロセスとして、試作案20問を、必須問診項目と推奨問診項目に分類し、3～4か月児健診に加え、1歳6か月児健診と3歳児健診向けの推奨問診項目について、研究班内ワーキンググループ会議（計4回）にて質的検討と妥当性検討を重ねた。

その結果、3～4か月児健診向けの推奨問診項目として13項目、1歳6か月児健診向けの15項目、3歳児健診向けの13項目と、それぞれの選択肢を開発した。さらに、各健診ごとに追記事項を示した。

この推奨問診項目と選択肢は、健診で親子を個別に支援していくための手がかりとなるばかりではなく、全国との比較、都道府県・市町村内の地区間での比較・格差把握等が可能になり、今後の母子保健事業・サービスの改善や母子保健計画の立案への応用が可能と考えられる。

A. 研究目的

乳幼児期の健康診査（以下、健診とする）の問診項目については、これまで標準化されたものがなく、他の市町村との比較検討等が難しい状況にあった。問診項目の標準化により、市町村間の比較はもとより、都道府県間の比較が可

能になり、市町村レベルから全国レベルでの母子保健施策向上に資することができると考える。

標準的な問診項目としては、「健やか親子21（第2次）」の指標と関連した必須問診項目と、指標とは関連しないものの個別の支援や母

子保健施策向上に資する推奨問診項目を作成した。ここでは、推奨問診項目の開発の経緯について報告する。

B. 研究方法

研究方法については、第1次検討プロセスと第2次検討プロセスに分けて記述する。

【第1次検討プロセス】

標準化にあたっては、まずは1次検討として、3～4 か月児健診における標準化を試行した。実際に市町村等の健診で用いられている問診項目の動向分析および帰納的分析を用い、その上で総合的な検討をおこなった。

〔問診項目の動向分析〕

巻末の文献から、これまで自治体等で用いられてきた問診項目について、その動向を年代別に分析した。

〔問診項目の帰納的分析〕

平成24年度厚生労働科学研究「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」（H24-次世代-指定-007（復興）研究代表者：呉繁夫）がデータ化した東北3県（岩手、宮城、福島県）の市町村乳幼児健診等における問診票の項目を、分析対象（計104市町村）とした。分析は問診項目毎に行い、問診項目の総数は52,574件であった。そのうち、今回は3～4 か月児健診時の問診項目を分析対象とした。

3～4 か月児健診に関する問診項目の抽出を試みたところ、抽出された問診項目数は1,013件となった。抽出された1,013件を対象に、各質問項目が意味する内容について分類するため、まず大項目をたてて分類した。大項目は、「発達」「育児状況」など、乳児健診の問診において一般的に用いられると考えられる大枠での分類を想定した。

大項目のラベル付け後、それぞれの大項目ラベル項目を対象に、下位となる中項目のラベル

付けを行った。中項目は、「相談・協力」「心配・悩み」など、質問内容を端的に表すと考えられる表記を用いた。

中項目のラベル付け後、それらに対応する問診項目の文言の統一を行った。さらに、用いられている頻度の高い項目についても識別した（新奇項目を除く）。

図1に上記のフローを示す。

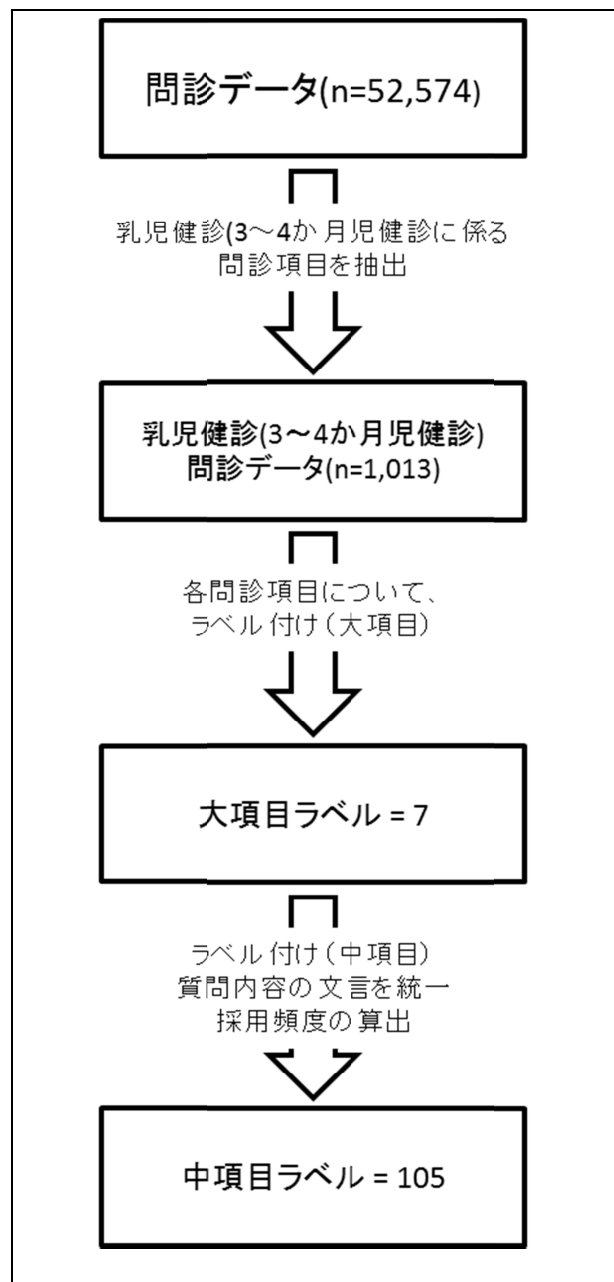


図1 分析の手続き（第1次検討プロセス）

【第2次検討プロセス】

研究班に設置された健診マニュアル作成ワーキンググループ会議（平成26年度内に4回開催）において、第1次検討プロセスで得られた標準化問診項目の20項目を、「健やか親子21（第2次）」の指標と関連し、母子保健課調査で状況を把握する項目（必須問診項目）と市町村に採用を推奨する項目（推奨問診項目）に分類した。

次に、3～4か月児健診の推奨問診項目を基本として、1歳6か月児健診と3歳児健診における推奨問診項目についても、それぞれ約10問程度の構成になるよう、会議にて質的検討と妥当性検討を重ね、各健診に対応する項目を最終的に開発した。

さらに、それぞれの設問に対して、最適な選択肢を付加するとともに、追記事項についても設定した。

C. 研究結果

【第1次検討プロセスの結果】

1. 問診項目の動向分析

（1）1990年代半ば

乳児健診が開始されてしばらくの間は、問診項目は発達を問う項目（以後、従来型発達項目とする）が主たるものであった。たとえば、福岡地区小児科医会による「乳幼児健診マニュアル、初版（医学書院，1992）」をみると、乳児健診の問診項目は、従来型発達項目が7問、栄養を問う項目が1問、その他が2問であった。1990年代半ばあたりまでは、この従来型の発達項目を主体に、10問程度の問診が組まれていた。

この年代の問診代表例は以下である。

従来型発達

- ・首がすわっていますか。
- ・あやすと笑いますか。

- ・アアー、ウーウ と声を出しますか。
- ・見えない方向から声をかけると、見ようとしてますか。
- ・動くものを目で追いますか。
- ・目つきや目の動きがおかしいと思いますか。
- ・視線が合いますか。
- ・ガラガラなどのおもちゃを手に持ちますか。
- ・両手を合わせて遊びますか。

栄養

- ・現在の栄養法はどうか。

（2）1990年代後半～2000年代前半

厚生労働省は1990年度から児童相談所が扱った児童虐待件数について調査を開始した。地域で行われる乳幼児健診にも徐々に虐待予防の視点が取り入れられるようになってきた。乳児健診では、これまでは児の発達に焦点が当てられてきたが、この年代以降は母親の心身の健康に焦点が当てられはじめた。とくに母親の育児不安や精神的健康についてである。さらにその母親を支えるものとして、父親（家族）の育児や周囲の相談相手なども問われるようになった。

2001年から「健やか親子21」の取組がはじまった。「健やか親子21」の指標には、上述の育児不安や精神的健康の視点も取り入れられていた。さらに、「健やか親子21」には、事故予防、喫煙状況、妊娠中・産後の状況、プライマリ・ヘルスケア（かかりつけ医）の視点も取り入れられた。

虐待予防の視点や「健やか親子21」の視点が導入されたことから、乳児健診で問われる問診項目数は多くなり、先の従来型の発達をあわせて約20問規模になってきた年代であった。

この年代に取り入れられた代表的な問診項目は下記である。

母親や育児の状況

- ・お母さんは、ゆったりとした気分で子どもと

過ごせる時間がありますか。

- ・お母さんは、育児に自信が持てないことがありますか。
- ・お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。
- ・お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。
- ・育児は疲れますか。
- ・お母さんの身体の調子はよいですか。
- ・お父さんは育児に協力的ですか。
- ・家族は育児に参加していますか。
- ・外気浴をしていますか。

事故

- ・ベッドから落ちたり、窒息しそうになったり、その他事故をおこしたことがありますか。
- ・たばこ・ボタン電池・硬貨・ピアスなどの小物（直径 39mm 以下）は、1m 以上の高さのところに置いてありますか。

喫煙

- ・お母さんの現在の喫煙はどうか。
- ・お父さんの現在の喫煙はどうか。

産後の状況

- ・産後うつ [EPDS]
プライマリ・ヘルスケア
- ・かかりつけ医はいますか。

(3) 2000 年代半ば

平成 17 年（2005 年）の国民生活白書において、「子育ての社会化」がとりあげられたことに象徴されるように、子育てと社会の関係が問われ始めてきた年代である。たとえば、育児サークル等への参加であるが、これも問診として取り入れられるようになった。

また、厚生労働科学研究「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」（主任研究者：山縣然太郎班）が、親子の社会的健康度の問診項目開発に取り組んだのもこの年代である。山縣班

50 と称された新たな問診項目は、「親子の社会的健康度」というキーワードのもとに演繹的に開発されたものであった。「健やか親子 21」の基礎データを得るための「親と子の健康度調査アンケート」には、山縣班 50 からの社会的健康度項目が 2 項目取り入れられている。

また、児の股関節の異常をみるための項目も取り入れられた年代である。

社会とのかかわり

- ・地域の子育てサークルや教室に参加していますか。
- ・お子さんと一緒に地域の祭りや行事に参加していますか。
- ・お子さんと一緒に外出した時、道で声をかけてくれる地域の人はいいますか。

股関節

- ・おむつを換えるときに脚の開きが気になることがありますか。

(4) 2000 年代後半

乳幼児健診に新たな視点の導入が始まった年代である。それは「発達障害」の早期支援である。平成 17 年に「発達障害者支援法」が施行されたことにより、自治体等における発達障害に関する支援意識の向上がみられたと考える。発達障害（傾向）児の支援に関しては、3 歳児健診から就学前健診までの 2～3 年間の“空白”に焦点をあてた「5 歳児健診」の導入の方向性と、逆に、より早期からの見立てと支援を目指す方向に分かれた。より早期からの支援を目指す方向性は、乳児健診にも表れた。

具体的には、発達障害に関連した問診項目の導入と、従来型の発達項目を社会性の発達から見直した新たな意味付けの取り組みがある。例えば、三重県では県内全市町村で乳児健診の問診票について三重県医師会との連携で取り組んでいる。

以下に新たな発達項目を示す。

新たな発達項目

- ・抱いたとき、反り返ったりつっぱって抱きにくいですか。
- ・からだ特に柔らかいと感じたり逆に硬く感じたことはありますか。

(5) 2010年代前半

この年代では、発達障害(傾向)児の支援をいかにして縦断的に繋いでいくかが課題となってきた。つまり、情報連携であるが、保護者がその必要性を認識することが必要条件となる。乳児健診の問診項目においても、情報連携(への同意)について扱う自治体が出てきた。その代表例を示す。

情報連携

・お子さんの健やかな成長のために必要があった場合は通園している幼稚園、保育所、療育機関、教育機関(予定含む)と健診結果をお伝えするなどの連携を図ることに同意していただけますか。

(6) 2010年代半ば以降～今後に向けて

「健やか親子 21」が最終評価年度を迎えることになり、「健やか親子 21(第2次)」が策定された。健康日本 21(第二次)に組み入れられた視点である「健康の社会的決定要因」の考え方は、「健やか親子 21(第2次)」にも取り入れられている。

健康の社会的決定要因のうち、たとえば経済的困窮、子育てに対する社会的意識の貧しさ、そして社会的格差の認識などは、親子の健康に大きな影響をもたらすと考えられている。

親子の社会的状況を問う項目の代表例を以下に示す。

社会的状況

・現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

2. 問診項目の帰納的分析

(1) 大項目

問診項目 1,013 件を分類したところ、まず下記の 7 項目(大項目)が抽出された。

育児状況

栄養

発達

生活

妊娠出産

保健医療

新奇

(2) 中項目

上の 7 つの大項目それぞれに分類された問診項目をさらに分類し、下位項目(中項目)として位置づけ、そのラベリングと文言の統一を行った。中項目の中でも、特に出現頻度の高い問診項目を以下に選択肢とともに示す。

育児状況

・赤ちゃんをあやしたり、ことばかけをしていますか[いつもしている、時々、あまりしていない]

・育児を負担に感じていますか[はい、いいえ]

・育児は楽しいですか[はい、いいえ]

・ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか[はい、いいえ]

・お父さんは育児に積極的ですか[はい、いいえ]

・あなたが困っている時、育児に相談・協力してくれる人はいますか[はい、いいえ]

・お子さんは、いつも機嫌がいいですか[はい、いいえ]

・育児をする中で、迷ったり、悩んだりすることはありますか[はい、いいえ]

・この子がいかなかったらなあと思うことがありますか[いつも強く感じる、たまに強く感じる、たまに少し感じる、全く感じない]

・お子さんは、育てやすいですか[はい、いいえ]

え]

- ・おさんのいる生活に慣れましたか [はい、いいえ]
- ・子育てを手伝ってくれる人はいますか [はい、いいえ]
- ・あなたの気持ちや体の調子は良いですか [はい、いいえ]
- ・昼間の主な保育者は誰ですか [母、父、祖母、祖父、保育所、その他]

栄養

- ・現在の栄養方法は何ですか [母乳、混合、人工]
- ・母乳やミルク(人工乳)をよく飲みますか [はい、いいえ]
- ・授乳時間はだいたい規則的ですか [はい、いいえ]
- ・1日の授乳回数は何回ですか [回] 数値
- ・現在、赤ちゃんに母乳・ミルク以外に何か与えていますか [はい、いいえ]
- ・おさんの栄養(授乳や離乳食)について心配な事がありますか [はい、いいえ]

発達

- ・手やおもちゃを口にもっていき、なめたりしますか [はい、いいえ]
- ・音や声のする方向へ顔を向けますか [はい、いいえ]
- ・動いているものを目で追いますか [はい、いいえ] ・ガラガラなど、おもちゃを握りますか [はい、いいえ]
- ・元気に手足を動かしますか [はい、いいえ]
- ・首がすわりましたか [はい、いいえ]
- ・あやすと声をだして笑いますか [はい、いいえ]
- ・寝返りをしますか [はい、いいえ]
- ・体がやわらかくしっかりしないとか、手足がつっぱって抱きにくいと感じたことはあ

りますか [はい、いいえ]

- ・うつぶせにすると頭をあげようとしませんか [はい、いいえ]
- ・目つきや目の動きで特に気になる所はありませんか [はい、いいえ]
- ・両手をいじりながら遊びますか [はい、いいえ]
- ・おさんに話しかけたとき、「うー」「あー」などと話しますか [はい、いいえ]

生活

- ・外気浴や散歩をしていますか [はい、いいえ]
- ・あなたの現在の喫煙 [なし、あり・・・ 1 日 () 本]
- ・あなた以外の家族の現在の喫煙 [なし、あり・・・ 1 日 () 本、誰: ()]
- ・あなたは、3食きちんと食べていますか [はい、いいえ]
- ・おさんはよく眠りますか [はい、いいえ]
- ・おさんの排便は毎日ありますか [はい、いいえ]

妊娠・出産

- ・妊娠中、血液検査をしましたか [はい、いいえ]
 - ・産後の生理は順調ですか [はい、いいえ]
 - ・妊娠中やお産は順調でしたか [はい、いいえ]
- #### 保健医療
- ・BCG の予防接種は済みましたか [はい、いいえ]
 - ・今、治療している病気がありますか [はい、いいえ]
 - ・1か月健診・2か月健診で、何か異常がありましたか [はい、いいえ]
 - ・おさんが今までにかかった病気はありますか [はい(病名:)、いいえ]
 - ・ひきつけや、けいれんを起こしたことがありますか [はい、いいえ]
 - ・おふろに入れた時、母乳やミルクを飲んで

- いる時、また泣いた時、くちびるが紫色になることがありますか [はい、いいえ]
- ・家族の中に先天性股関節脱臼だった方はいいますか [はい、いいえ]
- ・ご家族の中にアレルギー体質の方はいますか [母親、父親、その他の家族]
新奇
- ・お子さんの健やかな成長のために必要があった場合は通園している幼稚園、保育所、療育機関、教育機関(予定含む)と健診結果をお伝えするなどの連携を図ることに同意していただけますか [はい、いいえ]

3 . 動向分析結果と帰納的分析結果の差異

問診項目の動向分析で得られた問診項目と帰納的分析から得られた問診項目について、その差異をみたところ、動向分析では重要と認識された問診項目のうち、以下の項目を採用している市町村は少なかった。

- ・虐待認識(「健やか親子21」の指標)
- ・1か月時の栄養(「健やか親子21」の指標)
- ・かかりつけ医の存在(「健やか親子21」の指標)
- ・事故予防策(「健やか親子21」の指標)
- ・社会的健康度
- ・経済状況や格差認識

4 . 問診項目の標準化に向けた試作20問

上記の手続きから、問診項目の標準化案を作成した。

- ・あやすと声をだして笑いますか [はい、いいえ]
- ・見えない方向から声をかけると、見ようとしてますか [はい、いいえ]
- ・視線が合いますか [はい、いいえ]
- ・ガラガラなど、おもちゃを握りますか [はい、いいえ]

- ・両手を合わせて遊びますか [はい、いいえ]
- ・体がやわらかくしっかりしないとか、手足がつっぱって抱きにくいと感じたことはありますか [はい、いいえ]
- ・現在の栄養法はどうか [母乳、混合、人工]
- ・ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか [はい、いいえ]
- ・育児に自信が持てないことがありますか [はい、いいえ]
- ・子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか [はい、いいえ]
- ・お子さんは育てやすいですか [はい、いいえ]
- ・お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか [()]
- ・あなたの気持ちや体の調子は良いですか [はい、いいえ]
- ・あなたは、3食きちんと食べていますか [はい、いいえ]
- ・お母さんの現在の喫煙はどうか [なし、あり(1日 本)]
- ・同居のご家族の現在の喫煙はどうか [なし、あり(1日 本)]
- ・妊娠・お産は順調でしたか [はい、いいえ]
- ・かかりつけ医はいますか [はい、いいえ]
- ・地域の子育てサークルや教室に参加していますか [はい、いいえ]
- ・現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか [大変ゆとりがある、ややゆとりがある、普通、やや苦しい、大変苦しい]

【第2次検討プロセスの結果】

1 . 試作20問の分類

第1次検討プロセスにおいて得られた試作20問について、必須問診項目と推奨問診項目に分類し、それぞれ検討を加えることにした。

必須問診項目は、「健やか親子21(第2次)」の指標の動向を、毎年度の母子保健課調査で把握するものである。個別の健康状況の把握と保健指導に利用するとともに、その集計値から地域の状況把握に活用できる項目でもある。その利活用のポイントについては、本研究班のワーキンググループ会議において検討し、「標準的な乳幼児期の健康診査と保健指導に関する手引き～「健やか親子21(第2次)」の達成に向けて～」に掲載した。

ここでは、推奨問診項目について示す。
《推奨問診項目として議論した13項目》

- ・あやすと声をだして笑いますか[はい、いいえ]
- ・見えない方向から声をかけると、見ようとしてますか[はい、いいえ]
- ・視線が合いますか[はい、いいえ]
- ・ガラガラなど、おもちゃを握りますか[はい、いいえ]
- ・両手を合わせて遊びますか[はい、いいえ]
- ・体がやわらかくしっかりしないとか、手足がつっぱって抱きにくいと感じたことはありますか[はい、いいえ]
- ・お子さんは育てやすいですか[はい、いいえ]
- ・お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか[()]
- ・あなたの気持ちや体の調子は良いですか[はい、いいえ]
- ・あなたは、3食きちんと食べていますか[はい、いいえ]
- ・妊娠・お産は順調でしたか[はい、いいえ]
- ・地域の子育てサークルや教室に参加していますか[はい、いいえ]
- ・現在の暮らしの経済的状况を総合的にみて、どう感じていますか[大変ゆとりがある、ややゆとりがある、普通、やや苦しい、大変苦しい]

2. 各健診の推奨問診項目の開発

【3～4か月児健診項目】

上記の13項目を中心に4回のワーキンググループ会議にて検討を重ね、「資料 推奨問診項目」の表1に示す3～4か月児健診向けの推奨問診項目(13項目)を開発した。

さらに、各項目に対する選択肢についても精査し、それらを設定した。

【1歳6か月児健診項目】

3～4か月児健診の推奨問診項目を基本として、発達段階に合わせて、1歳6か月児健診における推奨問診項目(15項目)と選択肢を開発した(表2)。

【3歳児健診項目】

同様に、3歳児健診における推奨問診項目(13項目)と選択肢を開発した(表3)。

3. 各健診の推奨問診項目の追記事項

推奨問診項目を選定するにあたり、追記すべき事項がそれぞれの健診において検討された。これら追記事項についても、資料にまとめた。

D. 考察

1) これまでの問診項目に対する考え方

市町村に乳幼児健診が委譲された1990年代半ばから、現在に至るまでの期間に、乳幼児健診で問診票に用いられてきた項目の分析を通じて、乳幼児健診における標準的な問診項目の考え方について示す。

(1) 設問数

乳幼児健診委譲時は、問診項目数はそれぞれの健診に対して10項目前後であったが、その後増加を続け、現在では約20項目前後となっている。回答に要する時間、問診の効率性、そして保護者に事前に送付する健診のお知らせ等の紙枚数(重量)が郵送料に影響することを考慮すると、現実的には20項目前後の構成が望ましいと考えられた。

(2) 集団の傾向をとらえるための項目

乳幼児健診は、子どもの発達や疾病、さらには保護者の状況や養育環境を的確に把握し、より早い時期から適切な支援を行うために実施されている。これまでは「個」(個別の子どもや家族)を診て、「個」に還元するという方向性が基本となっていた。

ゆえに「個」に直接還元することが難しい項目、すなわち集団の傾向や社会とのつながりをとらえるための問診項目については、市町村の問診として、これまであまり採用されてきていない。

また同時に、市町村等の問診開発は育児不安や発達障害児など、その時々現場のニーズに合わせて行われてきた経緯があり、現在のニーズや重要度を調整した上で、採用を推奨する項目と考えた。

(3) 問診ではなく健診の場で診るべき項目

実際に市町村で用いられている問診項目の中には、問診ではなく健診の場(診察や観察)で診るべき項目(例.首がすわっていますかなど)が含まれていることがある。そのような項目については、問診項目として残すべきかを検討した。

2) これからの問診項目に対する考え方

「健やか親子21(第2次)」における考え方のひとつに、健康の社会的決定要因の考え方がある。個人と社会とのつながりや子どもの健康課題の格差の存在に目を向けた上で、社会に生きる子どもの健やかな育ちを支援しようという考え方である。乳幼児健診にもこのような考え方が取り入れられることが求められており、従来の乳幼児健診の考え方に大きな変革が求められている。

具体的にいえば、「個から個」に加え、これからは「個から社会へ」「社会から個へ」そし

て「集団と社会」という見方で問診項目を捉える必要がある。これは地域ごとの比較や経年推移の検討の上に成り立つものである。そのためには、全国で共通の問診項目を共有することと、それを個への還元と地域への還元につなげることが求められている。

そこで、標準的な問診項目を、必須問診項目と推奨問診項目から成り立つものとした。

3) 必須問診項目

「健やか親子21(第2次)」においては、「健康行動の指標」や「健康水準の指標」の中のいくつかを、乳幼児健診の標準的な問診を用いてモニタリングすることとした(別稿)。これらの項目は、個の状況の把握や保健指導、さらにポピュレーションアプローチとしての健康教育として重要である。同時に、問診結果の市町村の集計値を都道府県が把握し国に報告することによって、市町村や都道府県、国の評価につなげることができる画期的な試みである。

4) 推奨問診項目

乳幼児健診における健康課題の優先度は、地域や市町村規模により異なっている。また、疾病スクリーニングや支援の判定に影響する人材や資源も市町村ごとに違いがある。本研究班や「健やか親子21(第2次)」において、国から提示される問診項目は、市町村によって異なる健康課題を網羅的に把握するものではない。

したがって、全国共通の必須問診項目に加えて、市町村の状況に応じた問診項目を工夫する必要があり、そこに資するものとして推奨問診項目を設定した。

今回開発した推奨問診項目は、全国の市町村において現在用いられている項目を吟味し、ま

た母子健康手帳の問診項目も取り入れながら、項目数を絞り込んだものとなっている。

特に発達を見る項目については、健診の場で実際に親子を観察することにより把握可能な項目を省いた結果、推奨する項目数が少なくなっている。この推奨問診項目と選択肢は、健診で親子を個別に支援していくための手がかりとなるばかりではなく、全国との比較、都道府県・市町村内の地区間での比較・格差把握等が可能になり、今後の母子保健事業・サービスの改善や母子保健計画の立案に生かすことを可能にすると考える。

5) 選択肢

今回開発した推奨問診項目には、それぞれ選択肢を設定した。この選択肢の枝番と内容を全国の市町村で共通に用いることにより、間違いのない比較が可能になることを明記しておきたい。

E. 結論

乳幼児健診における問診項目の標準化を行うことを目的として、まず3~4か月児健診における問診項目の標準化に取り組んだ。これまでの問診項目の動向分析に加え、厚労科研呉班が収集したデータをもとに、現在実際に市町村で用いられている問診項目を帰納的に分析することにより、その差異を導き出した。その上で、健康の社会的決定要因の考え方を取り入れながら、乳児健診の問診項目標準化に向けた試作案20問を提示した(第1次検討プロセス)。

第2次検討プロセスとして、試作案20問を、必須問診項目と推奨問診項目に分類し、乳児健診向けに加え、1歳6か月児健診と3歳児健診向けの推奨問診項目について、研究班内ワーキンググループ会議(計4回)にて質的検討と妥当性検討を重ねた。

その結果、3~4か月児健診向けの推奨問診項目として13項目、1歳6か月児健診向けの15項目、3歳児健診向けの13項目を開発した。

【参考文献】

- ・福岡地区小児科医会：乳幼児健診マニュアル(初版)。医学書院，1992。
- ・福岡地区小児科医会：乳幼児健診マニュアル(第2版)。医学書院，1997。
- ・福岡地区小児科医会：乳幼児健診マニュアル(第3版)。医学書院，2002。
- ・平岩幹男：乳幼児健診ハンドブック～その実際から事後フォローまで。診断と治療社，2006。
- ・山縣然太郎：健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究。厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」。平成17年度総括研究報告書，2006。
- ・福岡県：福岡県乳幼児健診マニュアル。福岡県保健医療介護部，2008。
- ・平岩幹男：乳幼児健診ハンドブック～発達障害のスクリーニングと5歳児健診を含めて。診断と治療社，2010。
- ・福岡地区小児科医会：乳幼児健診マニュアル(第4版)。医学書院，2011。
- ・愛知県健康福祉部：愛知県母子健康診査マニュアル(第9版)。愛知県小児保健協会，2011。
- ・三重県医師会：三重県乳児健診マニュアル。三重県健康福祉部こども局，2012。
- ・洲鎌盛一：乳幼児の発達障害診療マニュアル～健診の診かた・発達の促しかた。医学書院，2013。

資料 推奨問診項目

【フェースシート】

フェースシート（問診票の属性を問う項目）で、保護者の「学歴」を聞くことを推奨する。学歴は、虐待をはじめとした育児のリスクと強く関連している。

（設問例）あなた（母）および父の最終学歴を教えてください。

（選択肢）1. 中卒 2. 高卒 3. 短大・高専・専門学校卒 4. 大学卒 5. 大学院卒

【表1 . 3～4 か月児健康診査の推奨問診項目】

区分	設問	選択肢
1	あやすとよく笑いますか。	1 . はい 2 . いいえ
2	見えない方向から声をかけてみると、そちらの方を見ようとしますか。	1 . はい 2 . いいえ
3	視線が合いますか。	1 . はい 2 . いいえ
4	ガラガラなど、おもちゃを握りますか。	1 . はい 2 . いいえ
5	両手を合わせて遊びますか。	1 . はい 2 . いいえ
6	新規発達項目 お子さんを抱きにくいと感じたことはありますか。	1 . はい 2 . いいえ
7	生活習慣項目 / 親の健康項目 / 社会的育児項目 散歩をよくしていますか。	1 . はい 2 . いいえ
8	親の健康項目 あなたの最近の心身の調子はいかがですか。	1 . 良好 2 . やや良好 3 . どちらともいえない 4 . ややよくない 5 . よくない
9	育児環境項目 あなたの日常の育児の相談相手は誰ですか。	ご記入ください ()
10	社会的育児項目 地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っていますか。	1 . はい 2 . いいえ
11	経済状況項目 現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。	1 . 大変ゆとりがある 2 . ややゆとりがある 3 . 普通 4 . やや苦しい 5 . 大変苦しい
12	保健医療項目 食物アレルギーについて気がかりなことがありますか。	1 . はい 2 . いいえ
13	育児基盤評価項目 現在何か心配なことはありますか。いくつでも をつけてください。	1 . 子どものこと 2 . 配偶者 / パートナーとの関係 3 . 父母 / 義父母との関係 4 . 育児仲間のこと 5 . その他 ()

< 追記項目・確認項目 >

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の問診項目【3・4か月頃】がある。これらは、今回の推奨項目に組み入れていないが、乳幼児健診の場で実際に親子を診て確認すべきである。推奨項目の最後にある「心配事」項目に、これらの不安が示されることもある。

首がすわったのはいつですか

目つきや目の動きがおかしいのではないかと気になりますか

スマートホンなどの ICT 機器を育児に安易に利用する、いわゆる『スマホ育児』が問題になってきている。テレビや DVD を 2 時間以上見るかを問う設問に続いて、下記の設問を追加することを推奨する。

スマートホンなどをよく見せたり触らせたりしていますか

(選択肢：はい, いいえ)

推奨項目の最後にある「心配事」項目で、「2. 配偶者 / パートナーとの関係」を選択した場合は、DV や児童虐待を疑わせる状況を把握することも重要である。

【1 歳 6 か月児健康診査の推奨問診項目】

区分	設問	選択肢
1	従来型発達項目	ママ、ブーブーなど意味のあることばをいくつか話しますか。
2		まわりの人の身振りや手振りをまねしますか。
3	新規発達項目	何かに興味を持った時に、指さしで伝えようとしますか。
4	社会性項目 / 親子関係項目	うしろから名前を呼んだとき、振り向きますか。
5	生活習慣項目	哺乳ビンを使っていますか。
6		食事や間食(おやつ)の時間はだいたい決まっていますか。
7		朝起きる時間と、夜寝る時間を書いてください。
8		甘い飲み物(ジュースなど)をよく飲みますか。
9	事故項目	これまで事故で病院にかかったことがありますか。
10	親の健康項目	あなたの最近の心身の調子はいかがですか。
11	育児環境項目	あなたの日常の育児の相談相手は誰ですか。
12	社会的育児項目	地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っていますか。

13	経済状況項目	現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。	1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通 4. やや苦しい 5. 大変苦しい
14	保健医療項目	食物アレルギーについて気がかりなことがありますか。	1. はい 2. いいえ
15	育児基盤評価	現在何か心配なことはありますか。いくつでも をつけてください。	1. 子どものこと 2. 配偶者/パートナーとの関係 3. 父母/義父母との関係 4. 育児仲間のこと 5. その他 ()

< 追記項目・確認項目 >

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の間診項目【1歳6か月の頃】がある。これらは今回の推奨項目に組み入れていないが、乳幼児健診の場で実際に親子を診て確認したり、簡単な検査器具で確認（検査）をしたりして、把握する必要がある。推奨項目の最後にある「心配事」項目に、これらの不安が示されることもある。

ひとり歩きをしたのはいつですか

自分でコップを持って水を飲めますか

極端にまぶしがったり、目の動きがおかしいのではないかと気になったりしますか

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の間診項目【1歳6か月の頃】がある。これは、必須問診項目に組み入れており、全国的な比較が可能である。

歯の仕上げ磨きをしてあげていますか

指さしに関する設問を推奨項目「新規発達項目」に一つ取り入れたが、これは M-CHAT (The Modified Checklist for Autism in Toddlers) から抽出した「共同注視」の指さし項目である。指さしには、「要求」の指さし、「興味」の指さし、そして「可逆」の指さし等があるが、これらについて、乳幼児健診の場で実際に簡単な検査を取り入れて把握することを推奨する。

スマートフォンなどの ICT 機器を育児に安易に利用する、いわゆる『スマホ育児』が問題になってきている。テレビや DVD を 2 時間以上見るかを問う設問に続いて、下記の間診項目を追加することを推奨する。

スマートフォンなどをよく見せたり触らせたりしていますか

(選択肢 : はい , いいえ)

推奨項目の最後にある「心配事」項目で、「2. 配偶者/パートナーとの関係」を選択した場合は、DV や児童虐待を疑わせる状況を把握することも重要である。

【3歳児健康診査の推奨問診項目】

	区分	設問	選択肢
1	従来型発達項目	衣服の着脱をひとりでしたがりますか。	1. はい 2. いいえ
2	社会性項目	ままごと、ヒーローごっこなど、ごっこ遊びができますか。	1. はい 2. いいえ
3	生活習慣項目	歯みがきや手洗いをしていますか。	1. はい 2. いいえ
4		朝起きる時間と、夜寝る時間を書いてください。	朝()時頃起床 夜()時頃就寝
5		甘い飲み物(ジュースなど)をよく飲みますか。	1. はい 2. いいえ
6		偏食や小食など食事について心配なことがありますか。	1. はい 2. いいえ
7		お子さんはテレビやDVDを1日2時間以上みていますか。	1. はい 2. いいえ
8	事故項目	これまで事故で病院にかかったことがありますか。	1. はい 2. いいえ
9	親の健康項目	あなたの最近の心身の調子はいかがですか。	1. 良好 2. やや良好 3. どちらともいえない 4. ややよくない 5. よくない
10	育児環境項目	あなたの日常の育児の相談相手は誰ですか。	ご記入ください ()
11	社会的育児項目	地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っていますか。	1. はい 2. いいえ
12	経済状況項目	現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。	1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通 4. やや苦しい 5. 大変苦しい
13	育児基盤評価	現在何か心配なことはありますか。いくつでも をつけてください。	1. 子どものこと 2. 配偶者/パートナーとの関係 3. 父母/義父母との関係 4. 育児仲間のこと 5. その他 ()

< 追記項目・確認項目 >

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の問診項目【3歳の頃】がある。これは、必須問診項目に組み入れており、全国的な比較が可能である。

歯の仕上げ磨きをしてあげていますか

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の問診項目【3歳の頃】がある。これらは今回の推奨項目に組み入れていないが、乳幼児健診の場で実際に親子を診て確認したり、簡単な検査器具で確認(検査)をしたりして、把握すべきである。推奨項目の最後にある「心配事」項目に、これらの不安が示されることもある。

手を使わずにひとりで階段をのぼれますか
クレヨンなどで丸（円）を書きますか
自分の名前が言えますか

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の間診項目【3歳の頃】がある。これらは、今回の推奨項目に単独の設問として組み入れていないが、推奨項目の最後にある「心配事」項目の選択肢「1. 子どものこと」で把握する。

いつも指しゃぶりをしていますか
斜視はありますか
物を見るとき目を細めたり、極端に近づけて見たりしますか
耳の聞こえが悪いのではないかと気になりますか

母子健康手帳の「保護者の記録」に下記の間診項目【3歳の頃】がある。これは、母子健康手帳から推奨項目に取り入れた「ごっこ遊び」の設問に、「いいえ」と答えた親子について把握することができる。

遊び友だちがいますか

スマートフォンなどのICT機器を育児に安易に利用する、いわゆる『スマホ育児』が問題になってきている。テレビやDVDを2時間以上見るかを問う設問に続いて、下記の設問を追加することを推奨する。

スマートフォンなどをよく見せたり触らせたりしていますか
(選択肢：はい, いいえ)

推奨項目の最後にある「心配事」項目で、「2. 配偶者/パートナーとの関係」を選択した場合は、DVや児童虐待を疑わせる状況を把握することも重要である。